

# びふか 議会 会 です

## こんにちは。

2019年8月  
北海道／美深町議会



### 私が町長になったら…

美深高校生と議長との対談（12～13ページに特集記事）

政策予算37件審議 …… 2～3

3件の新条例制定へ …… 4

意見書4件を提出 …… 5

ここが聞きたい 一般質問に  
6議員登壇 …… 6～11

新企画！未来を担う子ども達と …… 12～13

第1回定例会(3月議会)アラカルト …… 14～15

# 第110号

美深町議会

検索

ホームページから  
議会の動きをご覧  
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい  
再生紙を使用しています。



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

# 定例会

## 8億1800万円可決



補正予算には、美深駅東地区アクセス通路・町民広場改修・仁宇布小中学校改築実施設計・がんばる美深農業支援・産後ケアや風疹予防・チョウザメ養殖施設整備・幼児センター改修・防災情報端末機更新など政策予算37件を中心とした様々な事業が提案され、全会一致で可決された。

本会議には多くの町民が傍聴に訪れ、質疑の行方を見守った。

政策予算  
37件を  
審議

# 安心・安全の

# 充実を図られるか

### 主な質疑

町民広場改修  
予算額1600万円

質問  
改修はどのような内容になるのか。



整備される町民広場

教育G  
主幹  
噴水周りをアスファルト舗装に変更するほか、遊具の更新、フェンスを木造に変える。

質問  
木造フェンスの耐久性に問題はないのか。

教育G  
主幹  
防錆加工を施し、冬期間撤収することで耐久性を上げ、木造とすることにより修繕が簡単になる。

質問  
駐車場と面する場所があるが、万が一の場合は車両の侵入を防ぐことが出来ないのではないか。

建設水道  
課長  
改修時の残土を土盛りし車止めとし、築山としても利用できるようにしたい。

チョウザメ飼育  
予算額7748万円

質問  
継続の施設整備には年次計画に沿った予算計上があるが、チョウザメ個体の予算がない。稚魚確保は事業展開で重要だが、昨年のふ化事業の計画達成状況は。

企画G  
主幹  
最終的には2千匹程で目標に届かなかったが、今年は設備が整い、北大との協力関係を継続

しながら計画数を上回るふ化を目指し、挽回したい。

防災情報端末機更新  
予算額  
2億4000万円



質問  
更新する端末機はどのようなものになるのか。また、停電時の対策は。

総務G  
主幹  
外観・使用した現在のものと同様である。停電時対策は、スマートフォンにアプリを取り込むことにより、端末機と同じ情報を受け取ることができるようになる。



# 第2回

## 補正

ピロリ菌検査  
予算額44万円

**質問** ピロリ菌A B C検査は、どのように実施するのか。

**保健福祉G 主幹** 集団検診の胃がん検診・バリウム検査時に選択できるようにする。

厚生連、耐がん協会の検診の際も同様に対応可能となる。

特定疾患者交通費補助  
予算額10万円

**質問** 補助内容と対象者は、どのくらいいるのか。

**保健福祉G 主幹** 従来、所得制限をかけていたものを撤廃し負担軽減を図るもので、保健所の受給者情報によって、31名の対象者がいることが判明し、予算額を算出した。

制度を理解してもらえよう防炎情報端末機・町広報で周知していく。

**質問者** 岩崎・荒川・藤原・齊藤・中野・和田・田中議員

原案可決（全員賛成）

## 仁宇布小中学校 改築計画始動へ



**耐** 震基準を満たしていない危険校舎の改築という課題を抱えていた仁宇布小中学校。

これまで山村留学や学校のあり方も含め議論され、地元からの陳情や仁宇布小中学校の在り方に関する懇談会の協議を経て、町は山村留学を美深の特色ある教育の一つとして継続する方針を固め、6月6日の議会の全員協議会に改築基本計画案が教育委員会より示された。

- 基本方針**
- ①コンパクトな校舎
  - ②ふれあえる空間
  - ③自然環境を考慮

**現** 校舎を活用しながら新校舎を建設。耐震基準を満たす現体育館は活用。

**新** 校舎は傾斜のある屋根とし、周辺は落雪スペースを確保すること、道路からのアプローチやグラウンドの配置を考えた設計。

**児** 童数は20人ほどを想定し、少人数複式学級による教室とし、共有スペースを有した木造平屋建て床面積820㎡で、現校舎よりも90㎡ほど小さくなる。

**P** TA・教職員など学校関係者から要望を聞き、可能なものを取り込んだ基本設計に。

学校施設整備事業として、仁宇布小中学校建替実施設計業務委託費1,980万円が補正予算に計上され、可決された。

### 一般会計～主な補正内容～

補正前の額	補正額	補正後の額
47億7,100万円	8億1,868万円	55億8,968万円

総務費	公共施設整備基金積立金 防災端末機ほか	4億1,287万円
民生費	低所得者・子育て世帯向け支援事業ほか	922万円
衛生費	産後ケア事業・ピロリ菌検査ほか	202万円
農林産業費	がんばる農業・畜産クラスターほか	5,417万円
商工費	プレミアム商品券・チョウザメ飼育ほか	1億2,985万円
土木費	道路・河川整備ほか	6,019万円
消防費	災害時の貸与品整備	430万円
教育費	幼児センター改修・町民広場改修ほか	1億4,604万円

# 新条例制定

- ①美深町議会の議決すべき事件に関する条例
- ②美深町デマンド型乗合タクシー運行に関する条例
- ③美深町快適な住まいづくりと商工業振興条例

## より快適なくらしのために 新条例審査は常任委員会で

新条例3件は、各常任委員会へ付託され審査された。

①と②は総務住民常任委員会へ、③は産業教育常任委員会へ。委員会は、休会中の

17日、18日にそれぞれ開かれ慎重審査の結果、「可とすべきもの」として委員会で採択され、最終日の本会議で委員長報告の後、全員賛成で可決された。

## 美深町議会の議決すべき事件に関する条例

美深町における総合的かつ計画的な町政運営を図るための基本構

想の策定、変更、廃止を従来どおり議会が議決する。

Q

じゃあ、今の第5次総合計画はどうしてたの？

A

これまでは国からの義務で作って、議決していたんだ。平成23年5月に自治法が変わり、作るかどうかは町が決めることに変わったんだけど、町は第6次総合計画以降もこれまでと同じように作ることにし、新条例を制定したんだ。

Q

誰が使えるの？

A

吉野・斑浜・富岡・西里・紋穂内地区に住む町民で、3年間試験運行して利用状況や意見を聞いていたんだ。そして7月1日から運行することになったんだ。

乗降所までと、市街地の乗降所から該当する地区の自宅まで運行するもの。

## デマンド型乗合タクシー運行に関する条例

農村地区の交通空白地域の解消を目的に、住民の日常生活の利便性の向上と円滑な交通体系を目指すもので、該当する地区の自宅から市街地の



これまでの住環境の整備並びに定住促進・店舗の近代化や空き家の解体などを補助し、商工業の振興、地域活性化及び環境にやさしい地域社会の形成を目指してきた事業に、子育て世帯の支援を図ることを新たに加えた条例とした。

Q

この条例って今までもあったんじゃないの？

A

これまでの条例は今年の3月いっぱいまで終了したんだ。まだ家を建てたりリフォームしたい人が多いので、18歳以下の子どもがいる世帯の補助を拡大して新しく作ったんだ。



18歳以下の子どもを扶養し新築の場合  
2,500万円の工事費  
町内の業者で町産材使用すると  
子育て新築 200万 + 町産材 200万  
2,100万円が自己負担で建設可能  
※工事費用で助成金額が変わります

## 快適な住まいづくりと 商工業振興条例

# 意見書を国と道に提出

## 新たな過疎対策法の制定 に関する意見書

「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月をもって失効となるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き過疎地域に対して総合的かつ積極的支援を充実強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進していくことが重要である。よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

提出者 齊藤 和信  
賛成者 藤原 芳幸、小口 英治、岩崎 泰好、  
和田 健  
提出先 内閣総理大臣・ほか関係大臣  
《全員賛成》

## 令和元年度北海道最低賃金 改正等に関する意見書

道内の労働者賃金を「2020年までに全国平均1,000円を目指す」とする政府の目標達成に向け、最低賃金を大幅に引き上げること及び中小企業に対し支援の充実と安定経営を可能にする実効ある対策を図るよう国に要望する。

提出者 中野 勇治  
賛成者 藤原 芳幸、荒川 賢一、名取 明美  
提出先 北海道労働局長  
北海道地方最低賃金審議会長  
《賛成多数》

## 令和2年度地方財政の 充実・強化を求める意見書

人口減少対策、子育て支援や高齢者対策、医療・介護など社会保障への対応、防災対策や地方交通の維持拡大など地域サービスを推進するため、地方財政の充実・強化を求める。

提出者 藤原 芳幸  
賛成者 小口 英治、中野 勇治、荒川 賢一、  
名取 明美  
提出先 内閣総理大臣  
ほか関係大臣  
《全員賛成》

## 「これからの高校づくりに関する指針」 を見直し、機械的な高校統廃合を 行わないことを求める意見書

北海道の広域性を考えれば「1学年4～8学級を望ましい学校規模」とした指針は現実的ではなく、地域の願いや実態に応じ明日を担う子ども達の学ぶ権利を保証するため地域の学校を存続させ、北海道独自に少人数学級を実施し、機械的な高校統廃合は行わないことを求める。

提出者 岩崎 泰好  
賛成者 和田 健、齊藤 和信、五十嵐 庄作、  
田中 真奈美  
提出先 北海道知事  
北海道教育委員会教育長  
北海道議会議長  
《全員賛成》

## 条例の一部改正

●美深町税条例  
国の法律改正により  
個人町民税の非課税枠  
拡大や住宅ローン控除  
の拡充、軽自動車税の  
大幅見直し。

●美深町国民健康保険  
税条例  
国の法律改正により、  
課税限度額が上がり税  
軽減対象世帯の拡充。

●美深町災害弔慰金の  
支給等に関する条例  
国の法律改正に伴い、  
運用の改善と被災者支  
援の充実強化。

●美深町介護保険条例  
●美深町公共下水道条  
例  
●美深町個別排水処  
理施設条例  
●美深町給  
水条例は、消費税改正  
に伴う改正。

原案可決（全員賛成）



① 子ども模擬議会の開催・子ども権利条例の制定について



小口 英治 議員

**問** 将来の大人に子ども議会・子ども条例が必要

**答** 教育行政だけでなく町全体の方向性が必要

**質問**

第5次総合計画にある「次代を創る人を育てるまち

を創る人を育てるまち美深」の目標を着実に進めるため、児童・生徒へのふるさと教育や18歳以上の選挙権新設を活かす行政への理解など、教育が果たす役割は大きい。子どもたちの意見を今後の町づくりで反映出来る子ども模擬議会の開催や、わが町の豊かな自然や人との交わりの中で成長し様々な権利が守られて幸せに暮らすことを目的とした子ども権利条例を制定する考えはないか。

**教育長**

平成25・27年に同様な質問があったが、町長が開催の考えはない旨を答弁している。

子ども議会の開催は教育行政だけでなく、町全体の方向性が必要。子ども権利条例は法令に基づく事業はもとより、教育行政を超えたり、

幅広い議論が必要で現時点ではいずれも制定する考えに至っていない。

**質問**

第5次総合計画では、学校教育の充実において社会の変化に対応した教育の充実、地域の資源を活かした教育活動、開かれた学校、家庭・地域教育の充実を掲げているが教育委員会では難しいという見解だが、どこがリーダーシップをとるのか。

**教育長**

子ども議会での関連性が総合計画のベースになるとの考えには立っていない。

**質問**

権利条例は初めて。参議院本会議で体罰禁止法が発効された。子どもはどこに住んでいても将来の大人で町を支える貴重な人材であり、子どもとの

権利条例は初めて。参議院本会議で体罰禁止法が発効された。子どもはどこに住んでいても将来の大人で町を支える貴重な人材であり、子どもとの

《士別市の子ども権利条例から》

**大人の責務**

大人は、子どもが自分の権利について理解し、自分を大切にすることや自分以外の人を大切にできるゆたかな価値観をもつ人になることができるよう支援します。(第9条)

**教育長**

町の状況の中で十分応え得るのではないのか。必要な状況になれば、それは考えていかなければならない。

約束ことを大人の責任で町が定めるのは当然で近郊の士別市も制定しているのに、なぜ美深が取り組まないのか、また学校運営にコミュニティ制度を取り入れる中、当然机上に上げるべき課題と思うが明確な答えを。

**家庭では…**

保護者は、子どもにとって最善の利益は何かを考えて、子どもの権利保障に努めます。(第10条)

**学校では…**

育ち学ぶ施設の関係者は、子どもの権利保障に努めます。(第11条)

**地域では…**

地域住民は、子どもの権利保障に努めます。(第12条)

**行政では…**

行政は、子どもに関する施策を実施して、子どもの権利保障に努めます。(第13条)



和田 健 議員

## ① 美深町の特徴ある英語教育について

問

友好都市アシユクラフト村との  
交流や交換留学の取り組みは

答

英語に触れる機会を増やすことは大切  
将来的な課題である

**質問** 美深町が英語教育を進めるにあたり、各教育課程の到達目標は。

**教育長** 英語が使える美深人の育成を見据え、①幼児センターでは違う国の人と触れ合いながら英語に親しむ②小学校では読み・書きを含めた初歩的な英語の運用ができる③中学校では英語でコミュニケーションを図ることができる④

高校卒業時には英語を通して情報や考えを的確に理解し、適切に伝えることができることが目標。各教育現場で実践と連携の組み立てを行っている。

交換留学に関しては、平成6年から平成14年まで実施していた経緯があるが、必要性が見出せれば検討してみたい。

質問

友好都市  
アシユクラ

フト村との国際交流の取り組み状況と交換留学の考えは。

教育長

美深小  
において

アシユクラフトの小学校と交流を検討しているが、学期の違いや時差の問題、対応できる学年の違いがあり厳しい状況。



ALT授業風景(美深小学校)

問

美深町に慣れ親しんだALTを  
留任する考えは

答

町の財政負担の課題はあるが、  
英語教育推進にとって非常に意義深い

質問

町の英語教育に深く関わったALTを留任させることは、将来的に有効と考える。任期終了後も美深に残る意志があった場合、サポートの考えは。

教育長

派遣プログラムによって

国の交付税の算定基準により費用負担されているが、町独自負担となると見極めが必要。

美深町の教育スタイルを理解したALTが永住してもらえるとすれば、非常に意義深いと考えられ、できることがあれば教育委員会としてしっかりと支援したい。

ALTについては、学校側に教員のサポート役として、現場で密な打ち合わせを行い協働体制の強化をして頂きたい。

- ① 幼児センターの長期休業における保育について
- ② 学校給食の状況について



田中 真奈美 議員

**問** 幼児センターの長期休暇の対応は

**答** 今後の状況  
今一度踏まえ課題と認識

**教育長** 10連休のうち4月27日は土曜保育をし、その後の9日間が規則等の取扱いにより9連休となったことを理解いただきたい。また「センターだより」などで周知し、送迎時にも、お話させてもらった。しかし「仕事を休まなければならぬ」「農作業がはかどらなかつた」などの話もあった。今後の状況や

**質問** 今年10連休という長期休暇であったため、幼児センターを利用し仕事に就かれている方は様々な困難があったのではないかと思う。自営業や子育て世帯の就業者、交代制の仕事などの子育て世帯に対し、今後休業日を保育日にするような対応はできないものか。

二ノズを今一度踏まえ、協議していかねければならない課題と認識している。しかし幼児センターも人を探している実態が現状で、現在は時期を問わず休日に受け入れるという考え方は基本的にもっていない。



幼児センター運動会

**教育長** 平成28年7月には衛生管理基準のHACCP（ハサップ）でA評価を受けている。「美深の子どもはお弁当が小さい」と言われていた頃より、成長にばらつきがなくなったように思う。メニューも洋食和食と配慮した献立で概ね好評。地元食材の活用については、農業関係者と協議し限られた

**質問** 学校給食がはじまり、子どもたちの成長面、また保護者や町民にわかる情報提供は、食事についての正しい理解、地元食材の提供や食育教育など、4年間で経過し変化があったのか。

**問**

学校給食による変化は

**答**

成長のばらつき  
なくなった

作物でありながら努力している。また、栄養教諭による食育授業が1クラス1時間ある。今後も各家庭と連携を取りながら、安全な給食を一番の目標として取り進めていきたい。







名取 明美 議員

- ① ボランティア活動に対する町の側面的な支援について
- ② 高齢者に対する介護予防の取り組みの充実について
- ③ 美深町の潜在的な魅力の発信方法について

## 問

ボランティアのポイント制による町の側面的支援を

## 答

意見交換で育成支援へ

### 質問

様々な福祉活動が盛んにおこなわれ、その中でも、美深町シニア元気アップフェスタの企画の評価は大変よかった。美深町の少子高齢化が進む中、今後のまちづくりを進めていくうえで、ボランティアの協力は欠かせないと考えている。下川町の社会福祉協議会では、ボランティアに対し、報償ポイントを出している。介護

予防に係るボランティア活動に対して、下川町商品券への交換や寄付が可能なポイントを付与するもの。ボランティアの中には、無償の気持ちで活動されている方々も多くいると思うが、今後こうした活動が継続され、さらに広がっていくよう、町として側面的に支援する方策としてボランティアへのポイント制を検討してはどうか。

### 町長

シニア元気アップフェスタは、社会福祉協議会を通じて町からの支援も行い、実施され好評であった。今後、実施の計画をしているようであり、美深町のまちづくりに



社協主催のサロンでふまねっと

は、ボランティアは重要。互助としてのボランティアの役割であるが、全てのボランティアに支援することが出来ないことも理解してもらいたい。ポイント制については、今後も研究するとともに、各関係機関とボランティアの方々とも意見を交換しながら自主的な活動が継続されるよう、育成・支援に努めていく。

## 問 美深の潜在的な魅力発信

## 答 工夫を凝らして情報発信を

### 質問

ホームページ等を活用し定着移住者の体験した美深の潜在的な魅力を情報発信することが出来ないのか。

### 町長

現在広報誌、ホームページ等において移住促進を図っている。今後、魅力発信のために工夫を凝らしながら積極的な情報発信に努めていく。また、個人的に情報発信されている方々にも期待をしている。

※このほか②について質問

肩たたき

8	👣 👣 👣	タントントン
7	👣 👣 👣	タントントン
6	👣 👣	あひまぎね
5	👣 👣	母さん白髪が
4	👣 👣	タントントン
3	👣 👣	タントントン
2	👣 👣	たたきまじょう
1	👣 👣	母さんお前を
	A B C	

ふまねっとの1例

① 山村留学の推進について



五十嵐 庄作 議員

**問** どう山村留学をPRするか

**答** ホームページで  
細かな情報発信を

**質問**

山村留学を継続的に発展させるため、今後どのような方法でPRに取り組んでいくのか。

卒業生との交流は、留学の良さを理解してもらうため重要であり、また受け入れ体制の充実も仁宇布山村留学を考える方々には重要な要素だと思うが、今後の考え方は。さらにスクールカウンセラー指導者の充実の考え方は。

**教育長**

地域と学校が一体となり山村留学がスタートし今日に繋がっている。児童生徒数の確保は、学級数の確保という点と先生方の配置にも大きく関わり、留学生はHPを通じての情報を得てくるということもあり、現在進めているHPでのPRを主体とし、こまめな更新に努めていきたい。

町外の教育相談機関へのパンフレットなど

を通じ積極的に広報活動にも取り組んでいきたい。卒業生からは3〜4年前に行ったアンケートを通じ、「ホーム生活上で自立心や強い心を持つことができた」「人を信頼出来るようになった」「不登校を改善出来た」などの回答があった。スクールカウンセラーについては北海道教育委員会からの派遣の制度が有り、平成30年度より活用して1人配置している。ホスターホームの指導体制については、この4月から学校現場で実際に指導経験のある人材を指導員として配置している。親子住宅については現状で対応し、今は校舎改築工事に全力を挙げ取り組んでいきたい。



山村留学の里・仁宇布小中学校



岩崎 泰好 議員

- ① 『子供たちの通学路』の安全の確保は
- ② 『子供たちが安心して遊べる空間づくり』の確保は
- ③ 新しい総合計画策定に何人の町民が参画できるのか

## 問

### 通学路の安全は

## 答

### 関係機関の 連携で対策を

### 質問

全国各地で通学する子ども達を取り巻く悲惨な事故が相次いでいるが、わが町の通学路の安全対策は万全か。

### 町長

学校・教育委員会・警察・所管の道路管理者等によるスクールゾーンの安全点検が実施されている。改善すべき点があれば関係機関との連携により対策を講じていく。

### 質問

バイパスの利便で、生活道路となりつつある美深町の市街地の道路環境。制限速度の強化と「ゾーン30」の導入検討の時期ではないか。

### 町長

国道40号が生活道路化したとの認識になく、現段階での「ゾーン30」の導入は大変難しい。

### 質問

通学路の交通安全プログラムを各市町村で策定するよう、国は求めているが。

### 教育長

うちの町は昨年度末にようやく形に出来た。これから実働という状況

になっている。

## 問

### 子どもたちの目線で 遊び場づくりを

## 答

### 遊具の満足な配備は困難



環境が悪く遊べる状態にはない遊び場と放置されたままの遊具

### 質問

公園や公営住宅周辺などには、子ども達の遊び場があるが、管理が悪く遊べる状態にないところが多く、「子どもたちが外で遊べる空間がほしい」という母親の嘆きはどう答えを出すのか。

### 町長

ふれあい公園や町民広場の遊具は多くの子ども達や親子連れに利用されており、東児童公園や一般の公営住宅にある遊具については、利用が

### 質問

少子化の時代だからこそ、子ども達の目線で遊び場づくりを実践する時代と考えるが、地域の公園環境と外遊びについての見解と対応は。

### 町長

遊び場空間は、充実した遊具環境の中で遊び場という一面と広い芝生の上で子ども同士や親子で自由な発想で遊ぶ広場としての一面があると考えているが、遊具がない場合のことも想定して環境を保てるように努めている状況である。すべてに遊具を満足に配備することは遊具が高額であることから困難な状況であり、少子化の現状からも集約することが必要とも考える。

※この他、総合計画策定についての質問





美深町の  
いいなあ〜は？

将来の不安は？

学校生活は？

**5人**  
(全員挙手)

**司会** 18歳になると選挙権が与えられますが、選挙には投票に行こうと思っていいますか？

**5人**  
(異口同音に)  
いません。

**司会** 現在高校3年生の5人ですが、18歳になっている人は？

**参** 加してくれたのは、結城梨音さん、竹本大地さん、村上翼さん、鈴木穂乃果さん、高橋智也さんの5人。  
「一つは嘘をつく」という、アイスブレイクの自己紹介で和やかに始まった座談会。

**参** 加してくれたのは、結城梨音さん、竹本大地さん、村上翼さん、鈴木穂乃果さん、高橋智也さんの5人。

7月10日美深高校の一室を会場に、美深高校3年生の皆さん5人に南和博議長が加わり「私が町長になったら」をテーマに座談会を行いました。

**鈴木** 資格取れるのがいい。

**司会** 今美深に住んでいなと思うことは？

**議長** 議員は選挙で選ばれた町民の代表で、議会は町長が出した施策に対し、最後にイエスかノーを決めるのが議会で最高議決機関と言われています。



南 和博 議長

**村上** 町づくり？

**竹本** 予算？

**司会** 今年は美深でも選挙があり、議員も新たな体制での議会になりました。いきなりクイズ。議会ってなに？議員って何する人？

**司会** 名寄から通っている子もいると思いますが、みんなは何を使っている？

**議長** 高校生はあまり不便を感じてないかな？

**全員** 笑!!

**鈴木** 高校の近くにコンビニがほしい。

**高橋** 買いたい物のお店がない。

**竹本** 交通の便が悪い。

**結城** 仕事に就くところが無い。

**司会** では今後の将来に向けて不安に思うことは？

**鈴木** 奨学金制度があるのが良い。

**高橋** ワープロ検定も取れる。

**竹本** 漢字検定や資格検定が取れる。

**議長** この中に下宿を使っている人いますか？

**校長** 6部屋中、5部屋が埋まっています。

**司会** 美深には下宿があります。

**結城** ふれあいステーション!

**司会** 町のいいところはどこ？

**校長** JRが止まった場合は「バスなどの公共機関を使ってきてね」と言っています。



滝本 玲 校長

**鈴木** JR使っています。

**高橋** ほとんどバス。



# 新企画 未来を担う子ども達と 第1弾

高校生を取り巻く社会環境は大きな変化を示しています。すでに始まった18歳からの選挙権と間も無く始まる18歳成人年齢に高校生も一社会人として、自ら考え行動しなければならぬ社会環境となります。

美深町も今年度から2年間かけて、次の総合計画（令和3年から令和12年の10年間）策定作業に入り、どのようなまちづくりを進めるのか町民の意見を反映した計画づくりを実施します。

今回は、そんなタイミングの開催となりますが、美深高校で学ぶ美高生が、一住民としてこの町をどんな町にしていきたいのか、未来の夢を語ってもらうこととしました。

美深町議会 議会広報特別委員会

（次号は美深中学校の中学生を予定しています）

全員

笑！

議長

ハードル高いなあ（笑）

司会 美深町は、令和3年から第6次総合計画でまちづくりが始まります。みんなが考える美深町は、どんな街にしていきたいか。「私が町長になったら」を考えてもらいたいです。そしてそれを一言でまとめてください。

村上

掃除をするのが大変（バス・トイレ付部屋のため）

全員

笑!!

結城

ご飯が少ない！

司会

何か話聞くことありますか？

村上

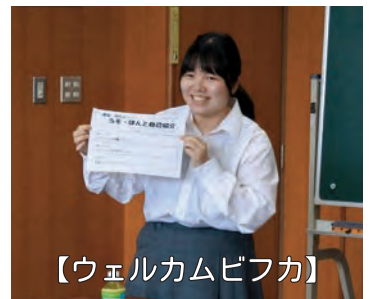
生徒会の2年生が下宿に入っています。

竹本 スポーツクラブチームを作ってほしい。町立の教育を無償化。シンボルになるような施設がほしい。



【がんばろう 美深】

結城 人口が増えてほしい。イベントを多くして海外の人にも来てほしい。高齢者と学生が交流できる場所を増やしてほしい。



【ウェルカムビフカ】

鈴木 子供が増えるたびに渡すお祝い金が増えるといい。農業や林業が盛んなのでPRして若い人を増や



【ワッショイ!! 美深】

村上 ほかの地域のイベントを増やしてほしい。そのために交通の便を増やせばもっと来やすくなると思う。木を使ったアクティビティ、施設や遊べるものを増やしたり、コテージがあるといい。



【行きたいまち!!! 美深!!!】

司会

ありがとうございました！

議長 美高は無償の奨学金などいい環境があるので、一度、町外に出て美深の良さを知って帰ってくるのが理想。見聞をひろげることができる人になってほしいと思います。

高橋 人口を増やすために公園を作ったり、外国人の観光客も呼べる観光地がもっとあればいい。



【おいでよ!! びうか】

し就業させていけたらいい。イベントを沢山やって多くの人に来てほしい。

選挙の年、3月議会の議会広報は発行できないのが常でしたが、重要な案件が審議され可決されましたので今回掲載し、情報提供いたします。

## 第1回定例会 (3月議会) あらかると

### 博物館に 学芸員の 配置を求める 請願

#### 請願採択へ!

この請願は平成30年12月の第4回定例会に、美深町郷土研究会(会長佐久間昌美さん)から提出され、産業教育常任委員会で慎重に審査を進めていたもの。

請願の内容は、『美深町の歴史、文化、民芸、産業、自然科学等の資料の収集保存と展示が日常的に実施されるよう学芸員の配置を求める』というもので、委員会審査の結果、全会一致で「採択すべきもの」とし「その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」として本会議に報告された。本会議では、賛成多数で採択された。



藤原 芳幸 予算特別委員長

### 骨格予算 総合計画に 照らして 予算特別委員会 で審査

予算特別委員会の審査は、第5次総合計画の大項目 ①自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」 ②資源をいかす活力に満ちたまち「美深」 ③次代を創る人を育てるまち「美深」 ④健康で明るく暮らせるまち「美深」 ⑤みんなでつくる心かようまち「美深」の各章ごとに2日間の日程で行われた。

総額64億円という改選を控えた骨格予算の審査ではあったが、評価調書や予算書などを基に活発な質疑が行われ、「原案可決すべきもの」として本会議に報告され、採決は全員賛成で可決された。

### 美深町 名誉町民条例 の改正

将来を担う人材が世界で活躍することも期待され、ふるさと交流事業で美深に在住していない方が名誉町民に推挙される想定など、時代の変化に対応する必要から改正するもの。

**現行** 第3条 町長は、名誉町民に対して次の特典又は待遇を与えることができる。

(4)町葬を行うこと。

**改正** (4)死亡したときは、弔詞、弔花を贈ること。ただし、本町に住所を有するものに限り、町葬を行うこと。

議員発議により、全員賛成で可決。

傍聴する人の個人情報保護の観点から、現在の傍聴人受付名簿への住所・氏名・年齢の記載方式から傍聴人受付票への記載に改め、

受付票を受付箱に投函し、議会事務局で傍聴人の個人情報管理することに改めたもの。

### 美深町議会 傍聴規定 見直し



## 功績を讃えて



永年にわたり議員活動に寄与された諸岡勇氏(7期28年)に対して、6月13日の定例会本会議の席上、議会表彰を行った。

## 3月議会の一般質問に2議員

○長岐 和彦 議員

「まち・ひと・しごと創生総合戦略について」



○岩崎 泰好 議員

「予算編成方針から、農業の振興と担い手の育成確保策を問う」



美深町議会  
第1回定例会  
議事録へ



## 平成30年度政務活動費 このように使いました

議員名	交付額	使用額	返納額
小口 英治	156,000	155,028	972
長岐 和彦	156,000	138,364	17,636
和田 健	156,000	130,272	25,728
中野 勇治	156,000	9,024	146,976
荒川 賢一	156,000	174,352	0
藤原 芳幸	156,000	157,762	0
岩崎 泰好	156,000	135,119	20,881
諸岡 勇	156,000	169,974	0
齊藤 和信	156,000	130,272	25,728
南 和博	156,000	166,706	0
倉兼 政彦	156,000	4,512	151,488
計11名	1,716,000	1,371,385	389,409

使途内訳では、調査研究費が2/3を占め、ほかに研修費・広報広聴費・資料購入費などに使われています。

主な使用状況では、自治体予算を考える研修会参加(滋賀県大津市)や定住・移住対策及び学力向上の取り組み(秋田県大瀧村・八峰町)、保健予防の取り組み(新潟県見附市・長野県箕輪町)、文化財保護(江差町)の先進地視察やチョウザメ飼育にかかわる意見交換(函館市)など、町が進める事業に有効な情報が得られるよう議員個々で行なわれ、残額は町に返納されました。

## 教育委員会委員の 任命を承認

大島一夫 氏  
昭和31年生まれ  
美深町字恩根内



任期は平成31年  
3月20日から令和  
4年9月30日まで。

## 第2回臨時会

5月17日

て財産の取得につい

●取得金額  
1383万2825  
円

●取得先  
(有)田中モータース

●取得金額  
4500万9200円

●取得先  
北海道川崎建機(株)  
名寄支店

ロータリ除雪車

## 第3回臨時会

7月12日

工事請負契約の締結について

幼児センター改修工事

●契約金額  
9075万円

●契約の相手方  
(株)山崎組

●工事の概要  
屋上防水・屋根板金・外壁塗装・照明器具LED化・ポーチ・テラス・窓サッシ・床天井・パネルヒーター・ボイラー改修・エアコン設置

# 議会の動き あらかると

## 町村議会 新任議員研修会

7月9日、札幌市第2水産ビルを会場に開催され、初当選の田中・名取・五十嵐議員が参加。北海道町村議会議長会事務局長の村川寛海氏を講師に「議会の運営と福利制度等について」の研修を受けた。



芽室町の議場での研修

## 活力ある議会へ 他市町村の事例に学ぶ 議会運営委員会行政視察

委員長所感

町民にわかりやすい議会の取り組みを目的に7月17、18日芽室町と鷹栖町に「議会はどのような役目を担っているのか」「住民の暮らしの向上に的確に存在価値を示しているか」など自問自答の中での視察となりました。

「住民の幸せのため切磋琢磨する議会運営の活性化」という永遠のテーマに先進的に取り組んでいる芽室町議会は、早稲田大学マニフェスト研究所が行っている「情報共有」「住民参加」「機能強化」の3軸からなるマニフェスト大賞を4年連続全国一を受賞した議会です。

様々な取り組みの中で、特に日常の議会活動を町民がチェックし改善点を提案する議会モニター制度が参考になりました。

鷹栖町議会では、議会広報は従来の定例会後の年4回発行に加え、



鷹栖町での研修

毎月発行の速報版、更に一般質問その後の経緯をまとめた年1回の追跡レポート発行などは印象に残りました。

議会は議決機関であり長との関係は車の両輪に例えられるが、長が提出したものは議会の判断材料であり決めるのは議会であります。これは全国都道府県議長会次長の言葉ですが、まったく同感であり、責任の重大さに改めて身震いしました。

(委員長 小口英治記)



## 函岳のめ

「議会」といったら、難しいことばかりなんだろうなあ。そう考える方も多いと思います。「議員って何ぞや？何をしてくれる人？」

先日、高校生との座談会の時、南議長が「議員は町民の代表で、町長が出した施策に対し最後にイエスかノーかを決めるところが議会」とわかりやすく説明をされ、今さらながらこの議会だよりを通して、選ばれた私たちが多くの町民の皆さんに対し「いかに興

味を持って読んでいただき、活動の報告を知っていたたく冊子」という大切な使命を受けていることに気がつきました。今回、もっと町の行政に興味を持ってもらうため学生と議長との座談会をやってあげたいね、という委員会の話の中で初めて美深高校の生徒の皆様とお話をさせてもらいました。

ほかの地域では子ども議会など子ども達と町がかかわる機会がある中、美深町でもそんな開かれた議会になっていけば、そう願っています。

広報委員会の血と汗のじむこの冊子(すこく大げさ)ぜひお子さんと一緒に読んでみてください。(田中 真奈美 記)



# 議会はどう変わるか

## 全道町村議会議員研修会

### 議会の動き・予定

- 5/17 議会運営委員会
- 5/17 第2回臨時会
- 6/ 6 全員協議会
- 6/ 6 総務住民常任委員会
- 6/ 6 産業教育常任委員会
- 6/10 議会運営委員会
- 6/13~21 第2回定例会
  - 6/13 執行方針、提案説明
  - 6/13 総務住民常任委員会
  - 6/13 産業教育常任委員会
  - 6/14 議会運営委員会
  - 6/17 総務住民常任委員会  
付託事件審査
  - 6/18 産業教育常任委員会  
付託事件審査
  - 6/19 議会運営委員会
  - 6/20 一般質問
  - 6/21 本会議、議案審議
- 6/21 議会広報特別委員会
- 6/24 議会広報特別委員会
- 6/25~26 全道町村議会議員研修会
- 6/28 議会運営委員会
- 7/ 9 町村議会新任議員研修会
- 7/10 「私が町長になったら」  
座談会
- 7/12 議会運営委員会
- 7/12 第3回臨時会
- 7/16 議会広報特別委員会
- 7/16 産業教育常任委員会  
所管事務調査
- 7/17~18 議会運営委員会  
行政視察(芽室町・鷹栖町)
- 7/23~24 議会広報特別委員会
- 8/ 2 議会広報特別委員会  
行政視察(下川町)
- 8/ 5 議会広報特別委員会
- 8/ 6 総務住民常任委員会  
所管事務調査
- 8/19~20 全道広報研修会
- 9/ 5 全員協議会
- 9/ 6 議会運営委員会
- 9/13~20 第3回定例会



6月25日、札幌市コンベンションセンターで全道町村議会議員研修会が開催され、全道の町村議会議員が一同に会した。

中央大学名誉教授の佐々木信夫氏から「地方は変わるかく議会はどうか変わるか、自治体をどう変えるか」と題し、講演が行われた。



政治評論家である有馬晴海氏から「どうなる？今後の日本政治」



### 江別市のごみ処理に学ぶ 6月25日 環境クリーンセンター視察



この施設は資源ごみ・危険ごみ以外のごみを受け入れ、粉碎し金属を取り除いたものを、

ガス化溶融炉で可燃ごみをガス化、溶融スラッグ、脱塩残渣となる。金属とスラッグは再利用されガスは発電用として利用し、施設の80%以上の電力を賄う。最終残渣は受け入れ全体の6%まで減少し埋め立て処分される。

名寄地区の炭化センターは更新時期が迫り、どのような施設にするのか議論が始まっている。昨年完成した埋め立て処分場は

予想以上の搬入量となっている現状で、ごみ処理施設全体で、効率よく、住民負担を抑え運営することが今後の大きな課題である。







# 私からのメッセージ

美深町民の  
おふたりからメッセージを  
いただきました。



## 美深町をめぐる対話の記憶

星野智之

「東京23区全部を合わせたより広い土地に、東京ドームの収容人数の十分の一より少ない人々が暮らしている土地だよ」2年前に移り住んだ美深町について、私は古い知人にはそんな風に説明しています。昨年、体調を崩して入

院中だった父親を見舞ったときもそうでした。父は私の言葉に笑いながら「そんな土地に民宿なんか造って、本当に客は来るのか？」と尋ねたものです。いや、村上春樹の小説の舞台にもなっている場所だから……と説明しよう

かとも思ったのですが、それもくたくたく響くだけかと思ひ、ただ「大丈夫だよ、いいところだから」とだけ答えた記憶があります。実はそれが父と私の最後の会話になりました。昨年11月、記録的に遅い初雪が美深に

降った日に、父は遠い神奈川県内の病院で息を引き取りました。いま、私に後悔があるとするれば、父にもっともっと、美深の四季折々の美しさを伝えられたらという事です。そう、伝えるべきでした。だからその分、この6月にオープンした私たちの民宿を訪れてくださるゲストに、それを伝えていきたいと今は思っています。



■5月開会の議会より、議会傍聴の手続きを個人情報保護の観点から、旧来の名簿記載の方式を投函方式に変えました。

## 生きる事は食べる事

遠藤望

私は酪農家に生まれました。子どもの頃の記憶に母が座っている姿はありません。私はいつも母が作った食事を満足に食べていました。忙しい中、母は家族の健康を考えて育ててくれました。子どもの頃、家族で

遊びに行った記憶は一度だけです。今は亡き倉兼のおじさんが、我が家を誘い種々の牧場に連れて行ってくれました。見た事もない大きな牛に驚き、家族で出掛けた事の嬉しさを、今も覚えています。農家に生まれた事は

仕方が無い事だと思っただけですが、今は感謝しています。「生きる事は食べる事」農業が一番重要な職業であると思うからです。私は約9年間、学校給食の栄養士を経験しました。文科省は食育を子ども達に進めてい

ますが、欧米型の食生活に染まってしまった私達世代の食育が重要だと考えています。私が営む「こはん屋」の「日替わり定食」から、栄養バランスを感じとってほしいです。最後に、私の夢のスタートを手助けして下さった大家さんと、温かく迎えて下さった錦町の皆さんに感謝し、町の役に立てるように頑張りたいです。

■6月議会は、延34人の方の傍聴を頂き、議会も行政側も一種の緊張感の中、議事を進行することになりました。ちなみに昨年までは、平均が10人でした。

■ただ、傍聴規定により子どもさんを連れた子育て世代のお母さんの退席を求めなければならぬ残念な事態が起こり、今後の対応をしっかりと進めていかねばなりません。